

# 洲本市

An Introduction to Sumoto City

市勢要覧 2020



# 洲本市民憲章

平成二十年十月一日制定

私は、ふるきこと洲本市を愛し、  
洲本市民としての誇りと自覚を持ち、  
明るく住みよい元気なまちづくりを  
めざして、この憲章を定めます。

一、私たち洲本市民は、自然を大  
切にして環境にやさしい美しい  
まちづくりをします。

一、私たち洲本市民は、郷土の歴  
史と伝統に学び、文化の薰り  
高いまちづくりをします。

一、私たち洲本市民は、人をうや  
まい、人をはぐくみ、共に助  
け合うまちづくりをします。

一、私たち洲本市民は、生命を大  
切にし、お互いを尊重するま  
ちづくりをします。

一、私たち洲本市民は、働くこと  
に誇りとよろこびをもち、活  
力あるまちづくりをします。

輝き  
共に 創る



共に輝き 共に創る

豊かな自然の輝き

積み重ねてきた

歴史の輝き

洲本の歴史

洲本のはじまり



五色地域 Goshiki area



JOINING UP  
CREATING

洲本市  
を  
体感

360°・VR

スマートフォンやタブレットで  
QRコードを読み込むと360  
度パノラマビューやVR動画  
で洲本市を体感できます



360度  
パノラマビュー  
QRコード  
写真的場所



VR動画  
QRコード  
動画の場所

郷土が生んだ偉人

28

シティマップ

26

魅力輝く共創のまちへ

24

輝く絆姉妹都市

23

まちで輝く生業

22

御食国食の輝き

20

エネルギーパーク洲本

18

輝きつづける

16

輝きを伝える伝統

14

豊かな  
自然の輝き



色とりどりに  
映える自然

WONDER OF

新緑萌える山、黄色く染まる菜の花、青色に輝く海、オレンジ色の黄昏。

季節や見る場所によって、さまざまな彩りが多くの人々に感動を与えます。

ABUNDANCE

①鮮やかに染まる夕日  
Sunset from Goshiki



②季節の色に映える鮎屋の滝  
Aiya Falls, a power spot that is special in every season



鮎屋の滝



③淡路富士 先山  
Mt. Senzan, known as "The Awaji Fuji"



④淡路橋立成ヶ島  
Narugashima Island, known as "The Awaji Hashidate"



⑤さまざまに輝く新五色浜  
Shin-Goshikihamama, a beach with many-colored pebbles



ナノハナ  
Rape blossoms



スイセン  
Daffodils



ハマボウ  
*Hibiscus hamabo*



アカウミガメ  
*Caretta caretta*



大浜

⑥白砂青松の砂浜海岸大浜  
Ohama Beach

THE  
NATURE

## Enjoying nature enriches people's lives

The verdant green of the mountain areas, the yellow fields of rape blossoms, the brilliant blue-green seas, and the spectacular orange sunsets—people can enjoy nature in many special spots around Sumoto in every season.

①淡路島西海岸を走るサンセットライン(県道31号線)は播磨灘を一望できます。特に新都志海水浴場から小豆島の島影にゆっくり沈む夕日は絶景です。②落差14.5mの滝。春の新緑や夏のホタル、秋の紅葉が滝に映えて美しく、園路で近くまで行くことができます。③国生み神話で、淡路島が誕生したとき、最初にできた山が先山といわれています。その姿は、威風堂々とし、淡路富士とも呼ばれています。④成ヶ島は洲本市の南東の端、幅約15～330m、南北約3kmの風光明媚な無人島です。その姿は「淡路橋立」と称されています。⑤五色の小石が浜を敷き詰めています。⑥中心市街地から徒歩で5分。松並木と白砂が印象的なビーチです。

# ONDER OF



積み重ねてきた  
歴史の輝き

幾重にも石を積み上げ作られた石垣。  
この石垣の石のようには  
歴史は洲本の礎であり、  
一つでも欠けてはいけない  
ものなのです。



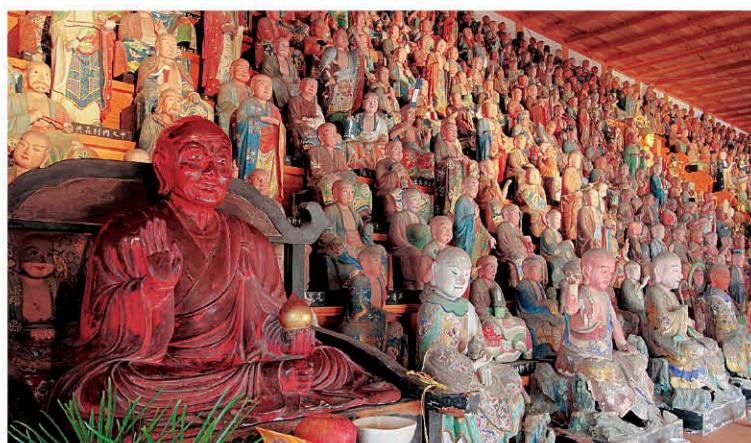
②鳥飼八幡宮の神輿  
Phoenix decoration of a portable shrine  
at Torikai Hachiman Shrine



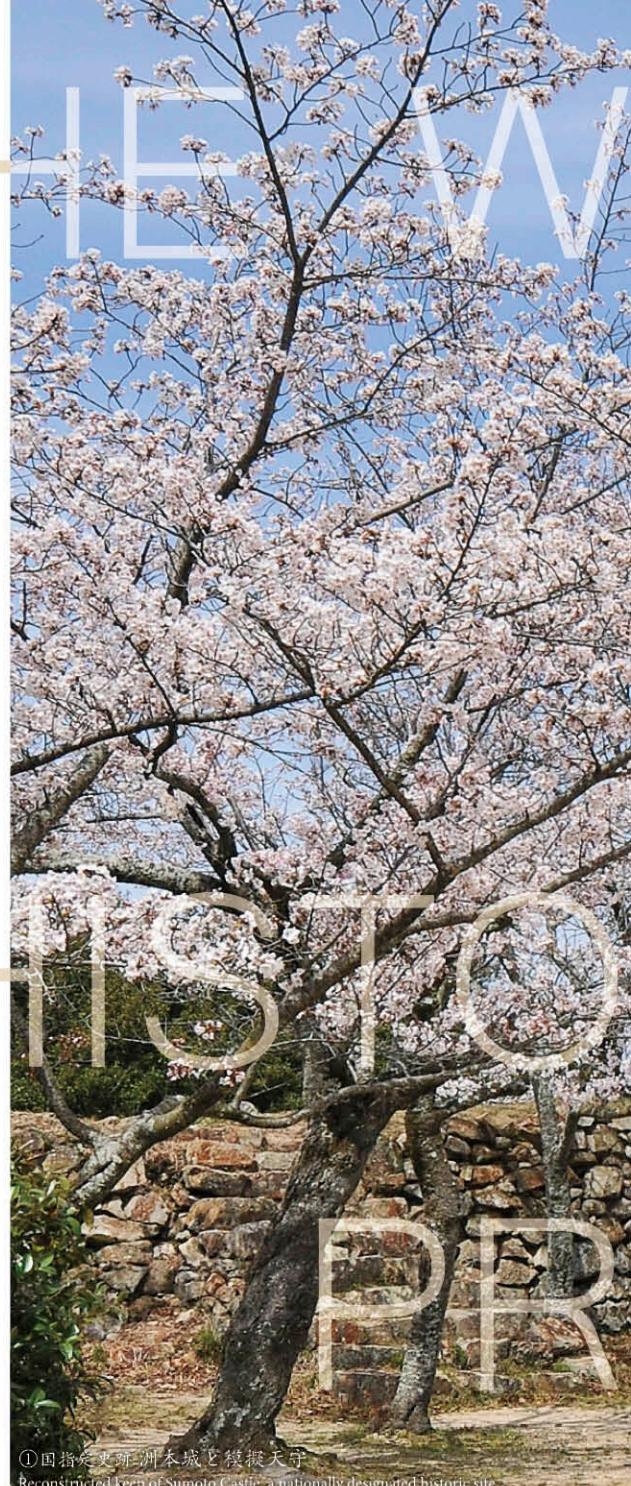
④高田屋嘉兵衛邸跡記念碑  
Monument at original site of Takataya Kahe Residence



⑤国名勝 旧益習館 庭園  
Kyu-Ekishukan Teien (Edo-period garden listed as national place of scenic beauty)



⑥蓮花寺 羅漢堂 五百羅漢  
500 Rakan (disciples of the Buddha)



①因指守更跡 洲本城と模擬天守  
Reconstructed keep of Sumoto Castle, a nationally designated historic site

①大阪湾に睨みを利かせる山城としての側面と、水軍の城としての機能的な面を併せもつ、壮大で重厚な構えをもつ城です。②平安時代後期の久安6年(1150年)近衛天皇の母君、美福門院得子が石清水八幡宮に奉納した15基のうちの1基で、沃懸地螺鈿金銅装神輿(いかけじらでんこんどうそうしんよ)と呼ばれています。鎌倉時代の特徴を持つ神輿で、国指定の重要文化財です。③阿弥陀三尊や阿弥陀如来、勢至菩薩など、13面が伝わる。時代も平安、鎌倉、南北朝、室町時代と異なった時代のものが伝えられています。④高田屋嘉兵衛の功績が後に認められたことで、大正4(1915)年11月、都志の有志が中心となり、邸宅跡に大記念碑が建立されました。⑤益習館は稻田家が臣属らの子弟教育のために設立した学問所でした。その庭園は、巨岩の自然石を巧みに生かした池泉回遊式の武家らしい豪壮な庭園で国名勝に指定されています。⑥堂内には、さまざまな表情、姿をした羅漢像が500余り並んでいます。

### ③鳥飼八幡宮の懸仏

Kakebotoke, hanging plates with Buddhist images in relief at Torikai Hachiman Shrine

## 洲本の歴史年表



### 縄文時代

由良、五色町鮎原で有舌尖頭器が発見される。宇山武山遺跡、安平の平安浦遺跡、下堺の外ヶ島遺跡など

### 弥生時代

下内膳遺跡で中期末と後期末の南海地震の痕跡が確認される。二ツ石の戎ノ前遺跡、下加茂の下加茂遺跡、広石下の飛谷遺跡など

### 古墳時代

下加茂のコヤダニ古墳から三角縁神獣鏡出土、中川原名子の浜遺跡や山下町廬屋敷遺跡などで製塩遺跡を確認。大野庄慶陶瓦窯跡(淡路最古の窯跡)、大野の土生寺陶瓦窯跡で藤原宮の瓦を生産

### 奈良時代

津名郡賀茂里、物部里、安乎郷の住人が税として米、塩などを都に納める。津名郡に南海道の駅家「由良駅」「大野駅」が設置される

### 延喜元 (901)

先山千光寺創建

### 安貞2 (1228)

鳥飼八幡宮に石清水八幡宮から神輿が送られたと伝えられる

### 弘安6 (1283)

別当忍聖、先山千光寺に梵鐘奉納  
都志郷の悪党退治のため淡路地頭御家人衆が都志八幡原に集結

### 元徳3 (1331)

阿波の細川師氏と宇原永真率いる淡路勢が立川瀬で戦う

### 暦応3 (1340)

熊野水軍安宅氏が足利義詮の要請を受ける。沼島の海賊討伐

### 文和元 (1352)

明兆、物部に生まれる  
の三角縁神獸鏡が出土しているコヤダニ古墳が確認されています。  
古墳時代では、島内唯一の古墳時代では、島内唯一の古墳が出土してい

今から  
1万4千  
年前の縄文

時代草創期、  
由良や五色町鮎原で當時の石器  
である有舌尖頭器が見つかっています。私たち祖先の最も古い痕跡です。

弥生時代には、洲本にも稻作が伝わります。弥生時代の拠点的性格を持つ下内膳遺跡では、河内や和泉、播磨など、広範囲に交易がおこなわれていたことがわかれています。海に囲まれた淡路島は、海を生業とする海人が航海術を駆使し、倭王権に重要視されました。

これら海人の活躍は、『古事記』『日本書紀』にも度々記され、その足跡は日本遺産にも認定されています。

古墳時代では、島内唯一の三角縁神獸鏡が出土しているコヤダニ古墳が確認されています。  
古墳時代では、島内唯一の古墳が出土してい

# HISTORY 洲本の歴史

守る文化遺産  
火災危険  
文化財  
みなむらこうざ

や由良などで塩作りが盛んにおこなわれるようになります。

律令時代には、地域の特

産品を朝廷に献上する「御食国」として、塩などを納めていました。由良には、

南海道の淡路島の玄関口となる「由良駅」、大野にも「大野駅」が置かれます。

中世に入ると、炬口や五

色町鳥飼では、石清水八幡宮の莊園として栄えました。

鳥飼八幡宮には美福門院得子（近衛天皇の母）が石清水八幡宮に奉納した神輿が伝わっており、国の重要文化財に指定されています。

室町時代末期、淡路一国を納めた淡路守護細川氏は、

阿波の三好氏に滅ぼされ、国人と呼ばれる在地領主が勢力を拡大する戦国時代がはじまります。中でも最大

の勢力を誇ったのが安宅氏です。淡路水軍を率いた安

宅氏は、三好氏とともに畿内を転戦、三好

が、三好氏とともにその勢力を失つていきます。

永正16  
(1519)

淡路守護細川氏、阿波の三好氏に滅ぼさ  
れる(千光寺梵鐘に追銘あり)

大永6  
(1526)

安宅治興、洲本城を築く(永正7年の説あ  
り)

大永8  
(1528)

炬口城主、三好氏に反旗を翻し籠城

天文18  
(1549)

三好長慶の弟冬康、安宅家の養子となり  
淡路水軍を掌握

永禄7  
(1564)

長慶、松永久秀の讒言で冬康を誅殺。子  
の信康が安宅氏を継ぐ

永禄9  
(1566)

安宅信康、滝山城の戦いで松永久秀を破  
る

# 狛犬ではなく狛猪？

Not a guardian shrine dog...a shrine boar?

## 千光寺縁起

淡路島のほぼ中心にあり、淡路富士とも呼ばれる先山、日本で一番早く生まれた島のそのまた一番先に出来た山という國生み伝承からこの名前がついています。その山頂にある千光寺。このお寺の縁起にはこう書かれています。

延喜元年(901)、播州の獵師忠太は、山中で為篠王という大きな猪を射ました。ところが大猪は、矢を負ったまま海を渡り、淡路島の山奥に逃げ込みました。忠太は血の跡を追い、たどり着いた先山の大杉の洞中には、矢の刺さった千手観音像がありました。驚いた忠太は殺生を深く反省し、頭を剃って仏門に入り、観音像を祀る寺を建立、その菩薩を安置しました。このことから千光寺の本堂の前には狛犬ではなく、狛猪が置かれています。

### 千光寺を見守る狛猪

The shrine boar that guards Senkoji Temple

### ストーリー

#### 1



千光寺

Senkoji Temple

# 島の拠点へ

天正9年（1581）の秀吉の淡路攻めにより、淡路島の戦国時代は終焉し、翌年には秀吉配下の仙石秀久が、天正13年（1585）には脇坂安治が洲本城に入城します。脇坂氏は、城の改修とともに城下町を形成、淡路の中心地が三原平野から洲本平野へ移り、以後政治経済の中心地として、今日に続くことになります。

江戸時代に、脇坂氏が伊予に移り、池田氏の支配を経て、蜂須賀氏が大坂の陣の功により、淡路一国を加増されます。これより明治を迎えるまで、淡路島は徳島藩となります。

蜂須賀氏は、池田氏が築城した由良城に城代を派遣しますが、淡路一国を治めるのに不便なため、淡路支配の拠点を洲本に移し（由良引け）、脇坂期の下の城に御殿を築き、これを中心に城下町を形成し、洲本城下町が誕生しました。

淡路支配を主に任せられたのが、筆頭家老の稻田氏です。稻田氏は、その石高1万4500石と大名並みの所領を有し、歴代当主は洲本仕置や城代に任せられま

天正9年（1581）  
羽柴秀吉の淡路攻めにより淡路国人衆滅亡。由良城、白巣城落城

天正10年（1582）  
本能寺の変後、安乎の菅平右衛門が洲本城を占領。秀吉配下の仙石秀久が5万石で洲本城主に

天正13年（1585）  
秀久が讚岐に転封、脇坂安治が3万石で洲本城主に。脇坂治世に、総石垣の堅城に改修される。

慶長14年（1609）  
脇坂安治、伊予大洲に転封。  
洲本城は藤堂高虎の預かりとなる

慶長15年（1610）  
池田輝政に淡路一国が加増され、岩屋城を築く

慶長18年（1613）  
輝政の三男忠雄に淡路一国が与えられ、由良城を築く

元和元年（1615）  
大坂の陣の功により蜂須賀至鎮に淡路一国加増、これより淡路は徳島藩となる

元和2年（1621）  
筆頭家老稻田示植、由良城代として淡路へ戻る

元和7年（1626）  
示植、由良城番免職となり阿波の脇城に稲田示植、淡路国城代として再來し、由良引けを主導

寛永8年（1631）  
由良引けが終わり、今に残る洲本城下町が誕生

寛永12年（1635）  
洲本の祭礼に初めて櫻尻が登場

元禄3年（1690）

延享年間  
（1744～1747）

稻田家の学問所が中屋敷にできる

稻

田

の

家

の

学

問

所

が

中

屋

敷

に

で

き

る

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

# 安宅八家衆の城と洲本城

ストーリー

2

Sumoto Castle and Castles of the Atagi Hakkeshū

戦国時代の永正16年(1519)、淡路一国を納めていた淡路守護細川氏が、阿波の三好氏に滅ぼされます。これより国人と呼ばれる在地領主が勢力を拡大する戦国時代に淡路島も入ります。

淡路の国人の中で、最大の勢力を誇ったのが安宅氏です。安宅氏は淡路各地に城を構え、その主な城は「安宅八家衆」の城と称されました。そのうち6城が洲本市内に存在します。中でも白巣城、炬口城は、淡路島の戦国期を語る上で特に重要な城跡で、兵庫県の史跡に指定されています。秀吉の淡路攻め以後は、洲本城に統治機能が集約され、近世へと入っていきます。

洲本城跡は、標高約133mの三熊山山頂に築かれた平山城で、安宅八家衆の城の一つでしたが、天正13年(1585)に賤ヶ岳七本槍のひとり脇坂安治が入城してから、総石垣の堅城に大改修されました。山裾にも城が築かれ、下の城と上の城を結ぶ2条の登り石垣が城をより強固にしています。



脇坂家の家紋入り瓦

A roof tile decorated with the family insignia of the Wakisaka

城には脇坂期の石垣が良好に残っており、秀吉の大坂城を守る南海の要塞として、その威容は今なお変わることはありません。平成11年に国の史跡

に指定され、整備を進めています。また、平成29年には、続日本100名城にも認定されています。



白巣城跡

Site of former Shirasu Castle

した。稻田氏の別荘を作られた庭園は、旧益智館庭園として国の名勝に指定されています。江戸時代後期には、五色町都志出身の高田屋嘉兵衛が、北前船の豪商として活躍します。都志浦のまち並みなど嘉兵衛翁の足跡は、北前船の日本遺産として認定されています。

幕末になると、大阪湾防衛のため洲本にも台場（砲台）が築かれます。由良の高崎台場には、40門もの大砲が据えられ、紀淡海峡要の台場として築かれました。炬口には、城下町を防衛する炬口台場が築かれ、今も当時の石垣が残っています。

高田屋嘉兵衛、ロシアに抑留される

江戸時代後期には、五色町都志出身の高田屋嘉兵衛が、北前船の豪商として活躍します。都志浦のまち並みなど嘉兵衛翁の足跡は、北前船の日本遺産として認定されています。

明和6  
(1769)

高田屋嘉兵衛、都志に生まれる

天明2  
(1782)

天明の繩騒動(淡路の百姓一揆)

寛政10  
(1798)

藩校洲本学問所ができる

文化5  
(1808)

伊能忠敬、測量のため来島



安宅冬秀公碑

Atagi Fuyuhide Monument



洲本城跡

Sumoto Castle

洲本城

# まちの近代化



庚午事変の騒動が収まつた明治4年以降、洲本のまちは淡路の中心として官庁機関の開設や近代化が進められます。

明治13年には洲本・阪神間の航路開設、同29年に淡路紡績が設立、同39年には淡路銀行開業、大正3年には淡路鉄道会社が設立、明治30年には洲本尋常中学校、同36年には淡路高等女学校も開設され、淡路島の中心の町としての体裁を整えます。また、明治10年、後に淡路の福沢諭吉と言わた安倍喜平は、県下初の新聞「淡路新聞」を発刊。彼は前述の汽船会社や郵便局、商工会、婦人会などの開設や設立にも尽力します。

天保12  
(1841)

安倍喜平、生まれる

安政元  
(1854)

幕命により徳島藩が台場築造開始  
稲田家の学問所を下屋敷に移し「益習館」と称す

文久元  
(1861)

由良高崎砲台場完成

文久3  
(1863)

將軍家茂、由良高崎砲台場検分

明治2  
(1869)

阿波淡路の一部(津名郡四三村浦は兵庫県が徳島藩となる)

明治3  
(1870)

庚午事変(稲田騒動)

明治4  
(1871)

稻田家臣団、北海道日高郡静内へ移住  
淡路島全域が名東県に属する

明治6  
(1873)

岩野泡鳴、洲本馬場町に生まれる

明治8  
(1875)

洲本郵便局設置

明治9  
(1876)

名東県廃止、淡路全島が兵庫県に属す洲本区裁判所開設

明治10  
(1877)

洲本警察署設置、淡路新聞創刊

明治12  
(1889)

公立洲本中学校設立(県下で初めて)  
洲本町町制開始

明治22  
(1889)

大恩赦庚午事変関係者全員赦免  
由良生石山砲台起工、これより由良要塞  
堡壘砲台の築造はじまる



# まちを揺るがした大騒動 庚午事変

Kogo Incident of 1870 (Inada revolt against Tokushima)

徳島藩筆頭家老稻田氏は、大名並みの所領を有し、家臣も幕末には2千人を超えていたといわれます。幕末動乱期、徳島藩は將軍家斎の子を養子に迎えていたため佐幕派でした。稻田家は、公家から室を迎えており、尊皇派として明治政府樹立に貢献しました。

明治2年(1869)の祿制改革より藩主は華族、藩士は士族に編入されました。しかしながら、稻田家臣は陪臣(家臣の家臣)であるため、給与がほとんどない卒族に編入されました。稻田家臣の中には、これまで他藩の家老クラスの給与を得ていたものもあり、稻田家臣の士族編入を徳島藩に訴えます。しかしながら、その訴えは退けられ、代わりに稻田家の分藩独立を新政府に働きかけました。この動きに徳島の若い藩士が反発し、明治3年(1870)5月13日、稻田家の屋敷、稻田家臣の屋敷を襲撃する事件を起こします。稻田側は抵抗することなく、死者17名、負傷者20名を数え、益習館を含む多くの建物が消失しました。

事件を重く見た明治政府は、藩士側の首謀者10名を切腹(日本の刑法史上、最後の切腹といわれている)、その他島流しなどの処分を下すとともに、稻田側へは北海道日高郡静内に移住開拓を命じました。これを庚午事変(稻田騒動)といいます。

この事件は、船山馨の小説「お登勢」や吉永小百合主演の「北の零年」でドラマ・映画化されました。



江国寺の招魂碑  
(稻田家臣)

Monument at Kokokuji Temple



専称寺の庚午志士碑  
(徳島藩士)

Monument at Senshoji Temple



洲本城内にあった御殿の  
一部を移築した金天閣

Kintenkaku, a section of Sumoto Castle relocated to  
Sumoto Hachiman Shrine



旧益習館庭園

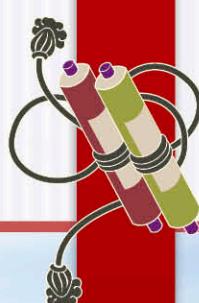
Kyu-Ekishukan Teien (Edo-period garden)

# 輝きつづける都市へ

由良では、明治29年に阪神間防衛の拠点として、由良要塞司令部が開設、多くの砲台が整備され、由良のまちには兵舎が立ち並びます。

昭和15年、旧洲本市は、県下6番目の市制を施行しました。明治以降、国の出版機関や銀行などが集まり、交通の要所でもあった洲本のまちは、中世、近代を通じて栄え、海水浴場や旅館などもあることから、阪神間から多くの観光客が訪れるようになりました。

平成18年には五色町と合併し、新しい洲本市として新たな歴史を歩んでいます。いまは、市内の紡績工場跡地が図書館などに再生され、近代化産業遺産として新たな市の魅力となり、また、平成29年2月には市の新庁舎が完成、魅力あるまちとして輝き続けます。



明治26  
(1893)

三島徳七博士、広石に生まれる

明治29  
(1896)

淡路紡績会社設立、由良要塞司令部開設

明治33  
(1900)

鐘淵紡績が淡路紡績を買収し洲本に進出

明治37  
(1904)

洲本河川付替

明治39  
(1906)

淡路銀行開業

明治42  
(1909)

鐘紡洲本工場建設

大正14  
(1925)

淡路鉄道全線開通

昭和3  
(1928)

御大典記念として洲本城模擬天守閣建築

昭和12  
(1937)

阿久悠、鮎原に生まれる

昭和15  
(1940)

洲本市市制開始

昭和18  
(1943)

淡路鉄道と全淡自動車会社が合併して淡路交通発足

昭和21  
(1946)

南海地震で洲本も被害

昭和30  
(1955)

県立淡路病院開設





岩田康郎氏像

Bronze statue of Iwata Yasuro

昭和35 (1956)	洲本商工会議所発足
昭和41 (1966)	淡路交通電車廃止、以後バスのみとなる
昭和60 (1985)	大鳴門橋と淡路縦貫道一部区間完成
昭和67 (1992)	阪神・淡路大震災
平成7 (1995)	明石海峡大橋開通
平成10 (1998)	洲本城跡、国指定史跡に
平成11 (1999)	台風23号で甚大な被害
平成16 (2006)	平成の大合併で洲本市と五色町が合併
平成18 (2008)	洲本市新庁舎竣工
平成25 (2013)	県立淡路医療センター開院
平成29 (2017)	旧益習館庭園が国名勝に指定
平成31 (2019)	洲本市新庁舎竣工

## 洲本の“まち”を大改造

Major Renovations in the Sumoto Town Area

ストーリー

4

洲本のまちにとって大転機となったのが明治37年に竣工した洲本川の河川改修事業でした。度々氾濫し、水害が絶えなかった洲本川の付け替えと港湾の近代化整備を行い、埋立地に紡績工場を誘致しました。当時の予算10年分の事業は、まさに100年の計を見据えたものでした。時の洲本町長、岩田康郎は自ら買収交渉にのぞみ、苦難の末に完成させました。

その紡績工場は次々と事業を拡大し、洲本のまちは、企業城下町として発展します。

昭和52年、洲本のまちを支えた紡績工場は撤退し、従業員の社宅跡地、工場跡地などが残されました。

これらを平成6年から、新しいまちの中心となるよう再開発が始まりました。古い工場のレンガ造りの建物が図書館やレストランとして再利用され新しい魅力を生んでいます。

また、大規模ショッピングセンターやバスセンター、文化体育館、県立淡路医療センターが建設され、洲本の新しいまちの顔となっています。



洲本川

Sumoto River



SUMOTO ARTISAN SQU

洲本アルチザンスクエア

Sumoto Artisan Square



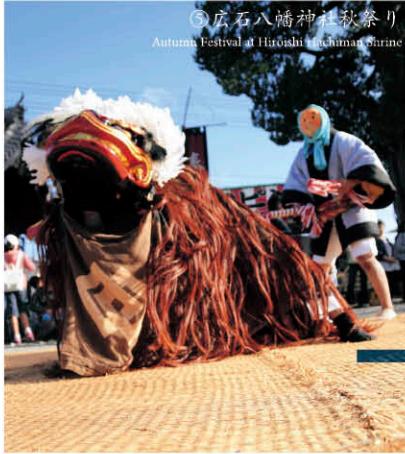
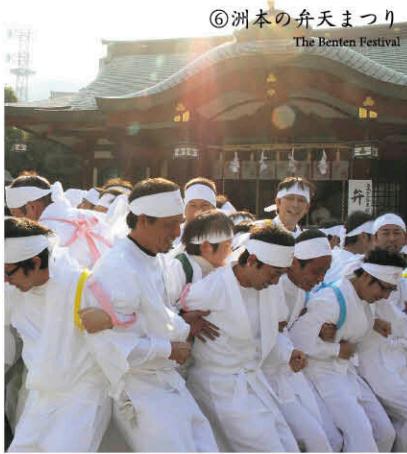
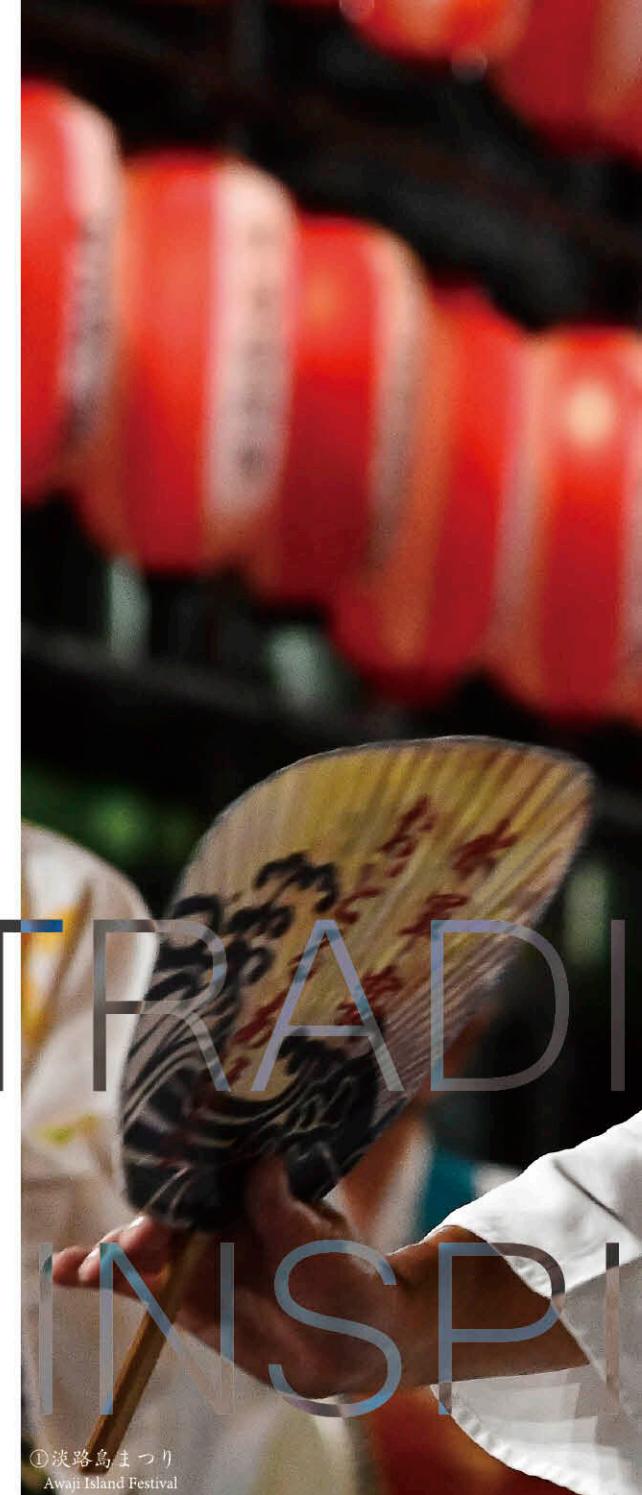
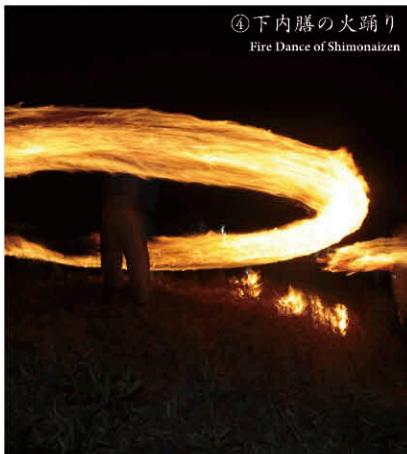


# EXCURSIONS THAT RE WONDERS



地域に残る祭りや行事には、歴史や先人たちのまちを想う心が詰まっています。大綱を引き合う鳥鉄八幡宮秋祭りや、水を豪快にかけて厄を払う由良の夏越まつり、洲本厳島神社の弁天まつり。淡路島まつりは島内最大の夏祭りイベントです。どの祭りも、まちにはなくてはならない伝統ある祭りです。祭りの当日は、参加者、見物客問わらず、大変な賑わいを見せます。

# 輝きを伝える伝統



①毎年8月初めの週末に3日間行われる淡路島最大の夏祭りイベント。3日目の花火大会には、島内外から約7万人が見物に訪れます。②神輿を担ぐ男衆に水を豪快にかけて厄を払お祭りです。沿道から水を幾度となくかけられながら、まちを練り歩きます。③鳥飼八幡宮の例祭。大きな船だんじりが、かけ声とともに神社の階段をゆっくり上がりしていく様は迫力満点です。④鎌倉時代から伝わるといわれる盆の送り火。荒縄で巻いた松明(たいまつ)に火を付けて振り回す奇祭です。⑤広石八幡神社の秋祭りでの獅子舞奉納。市内の神社では春祭り、秋祭りでそれぞれ個性ある獅子舞が見られます。⑥厳島神社で行われる祭りで、メインイベントの御神幸では、かけ声をかけながらご神体を担いでまちを練り歩きます。⑦五色町都志では、毎年8月15日に嘉兵衛翁を顕彰する高田屋嘉兵衛まつりが行われ、大勢の人でぎわいます。

Everyone can come and participate in our festivals, which include the autumn festival at Torikai Hachiman Shrine, the Nagoshi Festival held in Yura in the summer featuring lots of water splashing, and the Benten Festival at Itsukushima Shrine, not to mention the Awaji Island Festival, which is the largest summer event on the island.





①五輪メダリストらの技術や経験を子どもたちに伝え、将来世界に通用するアスリートにと夢が膨らみます。②③自然豊かなコースと地元産の食材を使ったおもてなしが魅力の市民マラソン。全国から約2,000人を超える市民ランナーが健脚を競います。④スタンプラリーや絵本の読み聞かせなど、普段静かな図書館がにぎわいを見せる秋のイベント。そのほかにも多くのイベントが同日開催され、まちが秋一番の活気を見せます。⑤「あわイチ」としてサイクリングファンから注目されている淡路島。一周150kmの起伏に富んだコースを楽しく時には苦しく、潮風を浴びながら走ります。⑥五色地域で30年以上前に始まった新年の恒例行事。家族や友人らと、それぞれが思い思いのペースで先山の頂上を目指して歩きます。



# PEOPLE BRI



## SMILES

## AND WO

# 人が輝く笑顔が輝く

淡路島は五畿八道の一つに南海道が通り、多くの人や物が古くから行きかう地です。今は阪神間から車を走らせれば1時間あまりで海山の景色と四季折々の食を楽しめる人気スポットとなっています。そんな魅力を生かし、洲本市では、ここに暮らす人、訪れる人が楽しめるさまざまなイベントが開催されています。

Awaji Island belongs to the ancient travel route known as the Nankaido ("southern sea circuit"), along which all kinds of people carried all kinds of goods. Today, it takes just an hour or so by car from the Kobe area, west of Osaka, to reach the island. The views of the sea and mountains and seasonal foods make the island a popular place to visit year round. Sumoto hosts many kinds of events for both residents and visitors that bring out the charms of the island.

輝きつづける ×  
エネルギーパーク洲本



NEWABLE  
PROJECTS  
FWONDER

洲本市は、あわじ環境未来島特区の指定、エネルギーパークとバイオマス産業都市の認定を受け、地域の自然や産業に根ざした環境との共生をめざすまちづくりを、产学研官連携で進めています。

公共施設での太陽光発電施設や西海岸での風力発電施設の設置。菜の花・ひまわりエコプロジェクトによる食用植物油の生産やバイオ燃料の精製、各施設での普及啓発活動など、こうしたクリーンエネルギーの活用によって、洲本市は、環境の変化や災害のリスクに強く、人と自然にやさしいまちとなることをめざしています。



菜の花からの榨油  
Processing oil from rape seeds



バイオ燃料で走る菜の花・ひまわりエコプロジェクトバス  
Eco-project bus that runs on biofuel



電気自動車充電スポット  
Electric vehicle charging spot



龍谷フロートソーラーパーク洲本  
Ryukoku Floating Solar Park in Sumoto



# ENERGY

The city of Sumoto is participating in an island-wide prefectural project to be a model for sustainable energy with initiatives such as biomass. Through our town planning, we collaborate with both industrial and academic experts in order to work and live in harmony with the natural environment.

Energy installations include solar panels on public facilities and wind turbines on the west coast. Eco-projects include producing edible oils from rapeseed and sunflower, the refinement of biofuels, and public education related to such efforts. By using clean energy, Sumoto aims to better manage risks from environmental change and natural disasters and build a society focused on sustainability and environmental conservation.



①新鮮な海の幸と豊富な山の幸が洲本市を訪れる人を魅了します。夏の高級食材であるハモだけでなく、あわびやウニといった高級品も味わうことができます。②まろやかな旨味を持つ生しらすと、口の中でとろける食感が特徴のサワラを存分に使った贅沢な一杯。海の幸の魅力がぎゅっと詰まっています。③タマネギだけでなく、牛肉、米まですべてが淡路島の食材でできた淡路島牛丼は、まさに島のうまみをとじこめた完璧な1杯。④五色地域で栽培されたイチゴを使ったスイーツなどの島スイーツが女性を中心に話題を呼んでいます。⑤ジビエの独自ブランド「AWAJISHIMA shishika」を使った料理は絶品。臭みも少なく調理しやすく、食べやすいと人気。冬には多くの料理店がshishika料理を提供する“shishikaフェスタ”が開催されています。

# FOOD API MIKETSU



## 御食国×食の輝き

淡路島は、はるか万葉の時代、朝廷に食料を献上する「御食国」と呼ばれていました。都人を魅了した食材の素晴らしさは、現在も変わりません。淡路島の一大特産品であるタマネギをはじめ、新鮮な魚介類、霜降り肉の最高峰黒毛和牛の淡路ビーフ、甘く熟れた果物など、まさに食の宝物庫です。

Awaji Island is one of just three *Miketsu-kuni* in Japan, a title given to an area that in ancient times produced food for the Imperial Court. Even today, people love food from Awaji. The island is famous for its sweet onions, fresh seafood, marbled black wagyu Awaji Beef, and well-ripened fruit.





## BUSINESS

# まちで輝く×生業

洲本市では農業や漁業だけでなく、  
製造業や洲本温泉に代表される観光業も盛んです。

Sumoto offers more than agriculture and fisheries. The municipality also has thriving manufacturing firms and a vibrant tourism industry, especially in the hot spring area of Sumoto Onsen.

Manufacturing

## -企業-



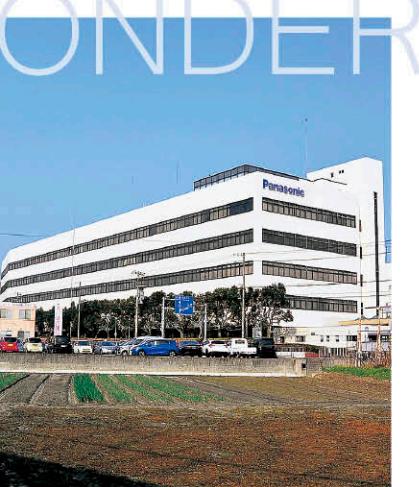
大昭和精機株式会社  
(MEGA V.I.P CENTER)

五色地域の企業団地には東大阪市に本社のある大昭和精機が進出し、優れた技術力と創造力で高品質な製品を全世界に送り届けています。



ミサキ電機株式会社五色工場  
(本社)

一般住宅用照明から店舗用照明・大型施設照明まで経済性の高い高機能な製品を開発・製造しています。



パナソニックグループ  
三洋電機株式会社  
エナジーソリューション事業部

小型二次電池(ニカド・リチウムイオン電池)、蓄電モジュール、蓄電システムの開発、生産を行っています。

# SISTER CITY



## 徳島県美馬市

Mima City, Tokushima

美馬市(旧脇町)は江戸時代、洲本に居城した稻田氏が初代・植元の時に城主として移り住んだ城下町。ともに稻田氏ゆかりの地として交流を深めてきました。

平成2年9月9日 姉妹都市提携



## 北海道日高郡新ひだか町

Shinhidaka Town, Hidaka-gun, Hokkaido

新ひだか町(旧静内町)は、明治3(1870)年に起こった「庚午事変」によって、北海道開拓移住を命じられた洲本城代稻田氏とその家臣らが開拓したまちです。

昭和61年5月2日 姉妹都市提携

# TIES BRING WONDER 輝く絆×姉妹都市

歴史的なつながりや市民レベルで始まった交流が姉妹都市提携となって発展、相互の交流も盛んに行われています。

Sister city ties, which began through historical connections and at the citizen level, continue to promote beneficial mutual exchange.



## アメリカ合衆国 ハワイ州ハワイ郡

Hawaii County, Hawaii

洲本市国際交流協会を中心に交流がはじまり、例年夏休みには高校生の短期ホームステイ派遣を行い、交流を深めています。

平成12年11月21日 姉妹都市提携

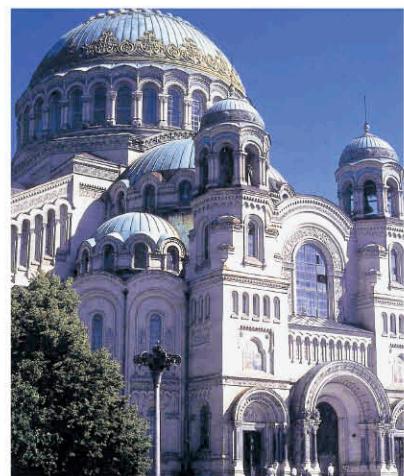


## アメリカ合衆国 オハイオ州ヴァンワート市

Van Wert, Ohio

平成5年の旧五色町時代に友好都市調査団が派遣され、交流がはじまりました。その後、中学生の派遣や訪問団の受け入れなど市民レベルで交流が行われてきました。

平成8年2月14日 姉妹都市提携



## ロシア連邦 クロンシュタット区

Kronstadt, Russia

ゴローニン事件にかかるゴローニンとリコルドが出会い、学んだ海軍のまちクロンシュタット。嘉兵衛や彼らの子孫交流をきっかけに、旧五色町と姉妹都市交流がはじめられました。

平成13年7月6日 姉妹都市提携

強くしなやかなまちづくり

自然環境と安全と  
暮らしやすさとの調和



## 共創のまちへ

CREATING A PLACE OF CHARM  
AND WONDER TOGETHER

するこころ豊かなひとづくり

郷土愛の醸成と  
次代を担う人材の育成



健やかに暮らせるまちづくり

生きがいとやすらぎを  
実感できる環境の創出



市民生活と地域を支える  
社会基盤の充実



安全で安心して暮らせる

SUMOTO CITY PLANNING

新洲本市総合計画

魅力 輝く

市民が活躍できる  
地域と仕組みの構築

思いやりと支え合いを大切に



地域産業の  
育成と新産業の創造

活力を生む産業を育み、元気で



# SUMOTO CITY MAP

これまで紹介してきたのは洲本市の魅力のほんの一部です。  
地図を片手に、まちを体感してみませんか。



## 五色町都志詳細図



## 市街詳細図



### 五色台運動公園「アスパ五色」

洲本市五色町鳥飼浦 2613

0799-34-1177



# 郷土が生んだ偉人

Prominent individuals from Sumoto City

北の海に飛躍した傑物

たかたやかへえ

## 高田屋嘉兵衛

Takataya Kahe

高田屋嘉兵衛は明和6(1769)年、都志(現在の洲本市五色町)に生まれました。船乗りをめざして兵庫に出て、樽廻船の水主を皮切りに卓越した航海技術を發揮して出世。28歳で当時最大級の1,500石積の「辰悦丸」を建造し、船持船頭として海運業に乗り出します。その後、嘉兵衛は北海道の函館を拠点に捉航路の開拓や交易で大活躍し「海の豪商」と呼ばれました。

嘉兵衛の名を歴史に残したのはロシア海軍のゴローニン艦長らが国後島で幕府の役人に捕らえられたゴローニン事件の際、その報復に嘉兵衛ら5人がゴロニア海軍に拿捕され、カムチャッカへ連行されました。あわや日露間の紛争へと発展しかねない大事件でしたが、嘉兵衛は抑留の身でありながらもリコルド艦長らと信頼を築き、この日露間の事件を平和的に解決します。事件の顛末はゴローニン艦長やリコルド艦長が記した「日本幽囚記」「対日折衝記」で西欧諸国に紹介され、「日本にはあらゆる意味で人間という崇高な名で呼ぶに相応しい人物がいる」(リコルド)と嘉兵衛を評しています。

また、司馬遼太郎が嘉兵衛を主人公に小説「菜の花の沖」を書き、平成12年には、竹中直人主演でNHKのテレビドラマにもなりました。



嘉兵衛肖像画



辰悦丸模型



リコルドと嘉兵衛の対談像



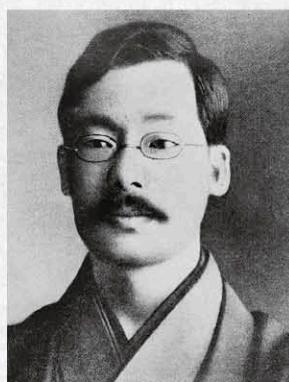
水墨画の基礎を作った画僧

きつさんみんちょう

## 吉山明兆

Kissan Mincho

文和元(1352)年、物部(現在の洲本市物部)に生まれた室町時代の画僧。東福寺の殿主であったため、兆殿司と称されました。作品には国宝である「溪陰小築図」ほか「五百羅漢図」「大涅槃図」などがあります。(いずれも重要文化財)



明治・大正期の自然主義作家

いわのほうめい

## 岩野泡鳴

Iwano Homei

明治6(1873)年、馬場町(現在の洲本市海岸通)に生まれた詩人・作家です。明治、大正期に自然主義作家として活躍し、多彩な活動分野と特異な作風から多くの愛好者がいます。代表作は「耽溺」「放浪」などがあります。



永久磁石の発明者

みしまとくしち

## 三島徳七

Mishima Tokushichi

明治26(1893)年、広石(現在の洲本市五色町)に生まれた冶金学者です。昭和6(1931)年に発明したMK鋼(磁石)は発電機や通信機などに広く使われ、我が国の産業や科学技術の発展に貢献。文化勲章を受章しました。



日本を代表するヒットメーカー

あくゆう

## 阿久悠

Aku Yu

昭和12(1937)年、鮎原(現在の洲本市五色町)に生まれた作家・作詞家です。テレビ番組「スター誕生」に企画・審査員として携わり、ヒットの仕掛け人として活躍。生涯に作詞した曲は5,000曲以上にもなる日本を代表する作詞家です。

# 市のシンボル

City Symbols

## 市章



洲本は、往古海浜の洲にあったため、地名を「洲本」と呼ぶようになりました。これにちなんで、洲浜の紋をもって市章と定めています。

## 市の花 水仙



City Flower: Daffodil

海岸部の山の斜面など、市内各所に自生しています。真冬の寒風に耐え、清楚な白い花を咲かせます。

## 市の花 菜の花



City Flower: Rape blossoms

油菜・菜種とも呼ばれ、種子からは良質の油が採れます。本市ではこの油を利用して、環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。一面黄色に染まった菜の花畠は春の風物詩です。

## 市の木 松



City Tree: Pine tree

古くから長寿の象徴と尊ばれる常緑の高木。白砂青松100選に選ばれている大浜海岸の松林は有名です。

## 市の鳥 千鳥



City Bird: Plover

～淡路島 通ふ千鳥の鳴く声に幾夜寝覚めぬ須磨の関守～『小倉百人一首』にも詠まれた水鳥で島の海岸部に生息しています。

## 市の魚 鮸



City Fish: Sawara (Sierra)

春、産卵のため太平洋から瀬戸内海へ回遊する高級魚。昔から食され、親しまれている魚です。

# 洲本へのアクセス

瀬戸内海の東に浮かぶ国生み神話の島「淡路島」。本市は島の中央に位置し、昔から島の中心都市として栄えてきました。

古くは阪神間の奥座敷と呼ばれましたが、今では「神戸淡路鳴門自動車道」によって、神戸市まで1時間、大阪まで2時間の阪神地域の通勤圏となっています。

また、神戸空港、徳島空港を利用すれば洲本から3時間余りで首都圏に行くこともでき、都会に近い田舎「トカイナカ」として、注目されるまちです。

◆位置 東経 134°89' 北緯 34°34'

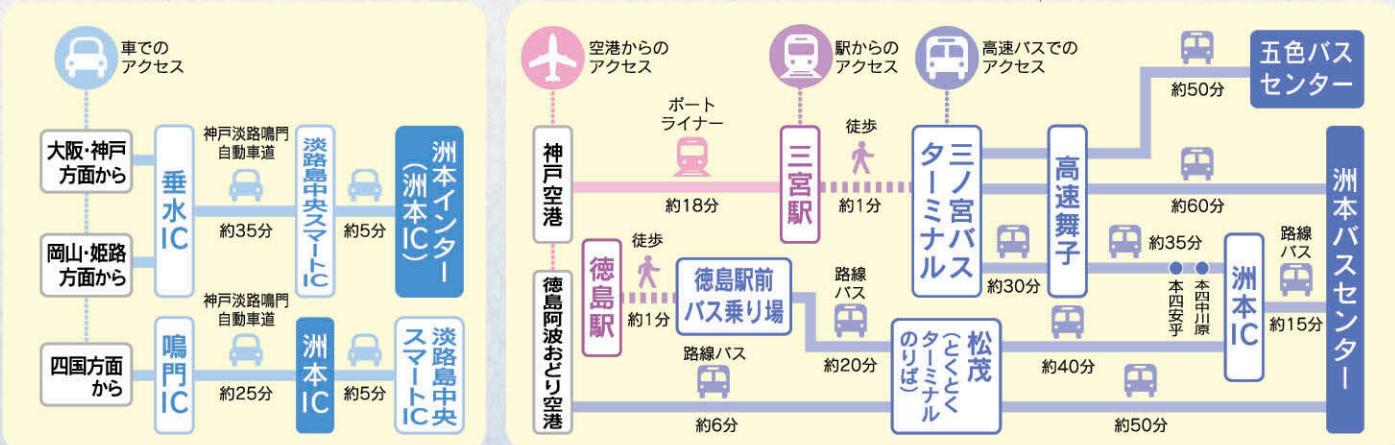
東西の距離 20.1km 南北の距離 20.8km

◆面積 182.38km<sup>2</sup>

北緯34°34'

東経134°89'

## アクセス方法



The background of the entire page is a wide-angle aerial photograph of Sumoto City at night. The city is densely packed with buildings, many of which are lit up, creating a warm glow against the dark sky. In the distance, a range of mountains is visible under a deep blue and purple sky.

発行 / 洲本市

令和2年3月31日 初版  
令和6年3月31日 第2版

〒656-8686 兵庫県洲本市本町三丁目4番10号

TEL 0799-22-3321(代)

URL <https://www.city.sumoto.lg.jp/>